

星城の留学&海外研修

日本じゃできない“自分づくり”がある！

海外で自分を試したい。中国語を学びたい。英語力を伸ばしたい。異文化に関心がある。

将来、国際的な視野をもって仕事をしたい。

そんな気持ちも持って入学した学生たちの“自分づくり”を支援するために、
長期留学制度(経営学部対象)とスタディーツアー(両学部対象)を用意しています。

日本ではできない“自分づくり”を目指して海外へ！

学生たちの冒険を経験豊かな教員が親身になってサポートしています。

国際ビジネスコースの留学制度

長期留学！単位認定制度により4年間で卒業！留学費用一部援助！

国際ビジネスコースを専攻する人は、約10カ月間、中国・台湾・アメリカのいずれかにおける提携校に単位認定留学をすることができます。さらに、留学先授業料を60万円まで本学が支給するなど、嬉しい支援があります。

■アメリカ、UCF 留学中！語学だけでなく経営学の授業も始まりました！



9月現在、英語だけでなく経営学の勉強も始まり、一層こちらでの生活が充実したものになってきています。ホスピタリティの授業や企業の経営戦略の授業などを週に1回のペースで取り始めました。このくらいがちょうどいいペースだと思います。なぜなら授業が大変難しいので、このくらいのペースでないと続けていくのが困難だと思うからです。また、あいかわらずフットボールシーズンが続いていますが、やはりスポーツ観戦は観衆が一体となって応援するので盛り上がります。とても面白く、つついこちらも応援してしまいます。少しずつアメリカンフットボールのルールもわかってきました。(写真:4月、他の留学生と現地で買い物をする高木さん【左端】)

- ◇ 経営学部 2年 高木謙一さん(国際ビジネスコース専攻) 岐阜・大垣西高校出身
- ◇ 留学先:米国フロリダ州オーランド市、セントラルフロリダ大学(UCF/University of Central Florida)
- ◇ 期間:2009年4月~2010年2月

■中国、海洋大学留学中！すこずつ中国語がわかるようになってきました！

海洋大学から見える青島の夜の景色は、とても綺麗です。生活面ではとても便利です。友達はベルギー、アメリカ、ドイツ、イギリス、チェコ、スロバキア、エジプト、チュニジア、パキスタン、韓国、中国、そして日本人と、たくさんの友達がいます。僕のルームメイトはベルギー人です。いつも授業が終わると、お昼ご飯や夜ご飯をみんなで食べに行ったり、いろんなスポーツをして楽しんでいます。中国語の勉強も毎日欠かさず頑張っています。授業では僕は中国語の入門からスタートしました。時間が経つにつれて先生の言っていることも今ではかなり分かります。中国語を早く話せるようにするために、日ごろから意識して中国語を使うようにしています。無事、海洋大学で毎日過ごせるに至るまで、たくさんお世話になりました盧先生、日下部先生に、心より感謝しています。



- ◇ 経営学部 3年 今藤 貴茂さん(国際ビジネスコース専攻) 静岡・袋井高校出身
- ◇ 留学先:中国山東省青島市、海洋大学(孔子学院奨学生として留学)
- ◇ 期間:2009年9月~2010年3月

■国際ビジネスコースで留学すると・・・？ 4年間のイメージは次のようになります。

学年	学習内容
1年次	事業を通じて社会に貢献できる人となるために、基礎および教養を学ぶ。 (基礎科目) 社会探索ゼミ、文化教養ゼミⅠ・Ⅱ、英語、中国語、マルチメディア情報論など (教養科目) 倫理学、生命と科学、道德教育研究など (コース専門科目) 海外ビジネスセミナー、事業貢献論
2年次	<div style="text-align: center;"> <h3>海外留学する</h3> <p>4月～翌年2月頃までの10カ月間</p> <p>(コース専門科目) 海外ビジネス演習</p> <p>(中国青島海洋大学、台湾台中逢甲大学、米国フロリダ州セントラルフロリダ大学)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>■中国語圏担当: 盧 聰明 教授</p>  <p>このコースの海外留学の最大の特徴は、語学だけでなく、現地のビジネスマナーや商業文化などに関する体験と学習ができることです。中国語圏の留学先は中国本土または台湾となります。どちらも現地の有名な大学です。</p> <p>国際舞台における中国のプレゼンスが高まりつつある現在、中華文化圏での留学体験は、必ずや社会に出た後の仕事上の大きな糧となるでしょう。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>■英語圏(アメリカ)担当: Martin Snyder 准教授</p>  <p>留学体験は、個々の学生が人格的に成長し異文化およびグローバル社会をとりまく諸問題への理解を深める上で、測り知れぬほどの影響を与えます。現地で学んだ理論と実際は、今日の世界で成功するために必要なリーダーシップと奉仕の精神を培う土台となるでしょう。</p> </div> </div>
3年次	2年次までの学習(国内・国外)を土台とし、グローバリゼーションへの認識および国際経営・異文化経営理論に対する専門的な理解を深める。卒業論文に向けた事前研究も開始する。 (教養科目) 言語文化、日本文化論など (経営専門科目) 経営戦略論、生産システム論、IT マネジメント、コーポレートガバナンスなど (コース専門科目) ゼミナールⅠ・Ⅱ、グローバルマネジメント、国際ビジネス実践セミナー、ビジネス英語、欧米企業論、観光概論、環境経営論など
4年次	<div style="text-align: center;"> <p>4年間の集大成、卒業論文の執筆と完成！</p> <p>(コース専門科目) ゼミナールⅢ・Ⅳ</p> </div>

■国際ビジネスコースの留学は、語学を主とした内容となっています。

語学留学を基本とし、これに加えて現地のビジネスマナーや商業文化などに関する体験と学習ができるような内容となっています。2009年度は、5人の学生がこの制度を利用して留学しています。

語学留学とは、大学キャンパスで現地の大学生と共に生活をしながら、その大学の集中語学プログラムで学び、その国の言葉と文化を勉強するものです。これには特定の語学力は要求されません。

■プログラムの概要はこのようになります。

■中国語圏	■英語圏
<p>午前：中国語学習(レベル別) 語彙・発音・会話・読解・作文など</p> <p>午後：大学授業参加 (経営学・IT 関連講義)、 校外研修、スタディーツアー、 社会活動、近郊の文化探索など</p>	<p>午前：英語学習(レベル別) 会話・読解・作文・語彙・発音など</p> <p>午後：応用分野学習 経営学基礎、情報処理演習、 異文化理解、TOEFL/TOEIC 対策など</p>
<p>☞具体的な内容については、直接お尋ねください。</p>	

■経験豊かな教員がアドバイザーとして支援します。

留学とは、ことばにおいても文化においても不慣れな環境の中で勉学に励むことですから、困難は避け得ません。越えねばならない「ハードル」を自覚したときは、成長のチャンスです。留学が実り多いものとなるために、国際ビジネスコース担当教員が、出発前の準備段階から帰国後に至るまで、学生たちを多角的に支援します。

■参加者が失敗しないために・・・

留学準備講座に相当する科目「海外ビジネスセミナー」を設置しています。安全対策とサバイバル、異文化適応・コミュニケーションスキル、現地での「常識」など、基本的なことがらを含めた講義です。留学をする人は、この科目を履修します。また、留年せずに4年間で卒業するためにも1年次開講の必修科目のすべてに合格せねばなりません。



行くか行かないか、いつまでに決めるのでしょうか？
教員に相談し1年後期科目履修登録日(9月下旬)までに決定します。

スタディーツアー

アメリカ、中国、台湾、モンゴル、エジプトへ、短いけれど充実した短期研修！

経験豊かな教員が現地の人々の協力を得て実施しています。史跡名所見学だけでなく、現地の人々との交流や社会活動への参加など盛りだくさんの内容となっています。毎年、十数名の学生たちがスタディーツアーに参加しています。短い期間ですが、皆、ひと回り大きく成長して帰ってきます。



(写真:相撲で交流する神野さん【左】)

■台湾

初めての海外研修で緊張していましたが、緊張の反面、期待もとても大きくワクワクしていました。今回、台湾のスタディーツアーに参加して、私自身の異文化コミュニケーション力不足を感じました。しかし、台湾の食文化・政治・経済状況などを肌で感じることで、とても有意義なスタディーツアーとなりました。このような機会がまたあれば参加したいと思いました。

- ◇ 経営学部 2年 神野元誌さん
(医療マネジメントコース専攻) 長野・木曾山林高校出身
- ◇ 訪問先:逢甲大学、大華技術学院、新生医護管理専科学校、台中科学博物館、新竹硝子博物館、故宮博物館など
- ◇ 期間:2009年9月6日から12日
- ◇ 引率者:盧聰明教授(経営学部)



(写真:参加した学生たち)

■エジプト

2007年3月14日(水)~23日(金)にかけて実施されました。参加者はリハビリテーション学部作業専攻2年生女子2名、経営3年男子1名、計3名と、こじんまりしたものですが、エジプト人大家族とのコミュニケーション、カイロ大学日本語学科生との交流、カイロのリハビリテーション病院訪問など、内容は盛りだくさんでした。

- ◇ 引率者:森川孝典准教授(リハビリテーション学部)

特別研修

日本語教師ボランティアなど、海外提携校との交流により実現！

既定の留学制度やスタディーツアー以外にも、海外で自分を磨くチャンスが提携校との交流の中で生じます。学内ホームページの電子掲示板などを通じて、その都度、参加希望者を募集しています。

■中国で日本語教員として働いています！



(写真:教職員の方々と辻垣内さん【中央】)

日本で企業に就職する前に自分を磨くため、一年間海外に出ようと考えました。仕事をしながら中国語も学べるので、これはすごいチャンスだと思います。見知らぬ土地に行く楽しみと、実際に授業が行えるのかという不安がありましたが、星城大学在学中に国際ビジネスコース担当の先生方から現地事情を教えていただいたりして、不安も和らぎました。授業で悩むこともありますが、その一方で日本との文化の違いや中国の独特の文化を知ることは刺激になっています。

- ◇ 経営学部 辻垣内 孝さん(2009年卒業)和歌山・大成高校出身
- ◇ 研修先:中国山東威海外国語進修学院
- ◇ 期間:2009年4月から一年間